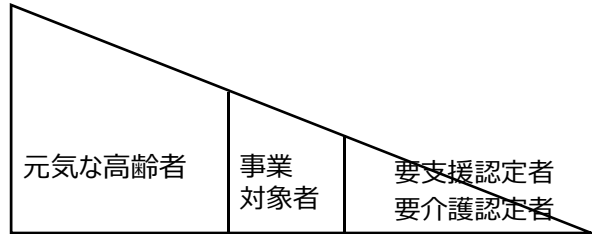


■ 第 7 期事業計画から第 8 期事業計画への展開に向けての取組

I 元氣な高齢者を増やして、要介護認定者数の抑制、低減を進める。 → II 介護給付費の抑制、低減に繋げる。

【現状】



認定率比較（令和元年度）※国の地域包括ケア「見える化」システムより

	全国	長野県	飯田市	伊那市	駒ヶ根市
要介護認定出現率	18.5	17.3	19.3	15.8	14.1

【現状】

- ・要介護(要支援)認定者が多い。(出現率 19.3%)
- ・出現率には、一定の抑制効果が働いているが、フレイルに陥っている高齢者も多い。

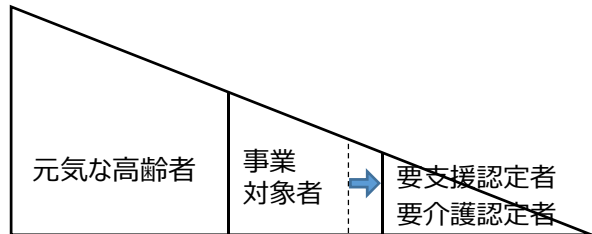


- ・介護給付費の抑制が困難。
- ・第 7 期介護保険事業計画期間の保険料が、県内の市で一番高額。

【要因】

- ・予防への意識付け、相談機能の不足。
- ・軽度要支援者に対し、効果的な予防事業の展開ができていない。

【令和 2 年度】



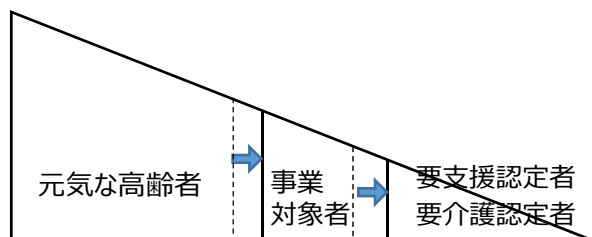
【方向性】

- (1) 予防への意識付け、相談機能の充実を図る。
- (2) 軽度要支援者を事業対象者に留まるよう支援し、要介護(要支援)認定者数の抑制を進める。
(出現率を 19.5%に留める：地域健康ケア計画の目標値)
- (3) 重度化防止を進める。
- (4) 予防事業の再構築を進める。

【当初予算での状況】

- (1) 基幹包括支援センターの機能を拡充し係の設置（地域包括ケア系の名称変更）
 - 職員体制の充実（正規職員（理学療法士〈PT〉）、臨時職員（社会福祉士等専門職）の増員）、予防への意識付け、相談機能の充実を図る。
 - ★ 正規 PT は地域包括職員とともに軽度要支援者の自宅を訪問、アセスメントを行い自立に向けた支援に繋げる。
正規 PT が対応できない場合、地域の PT に依頼 【450 千円：(事務事業No.329)】
- (2) 基幹包括支援センターと地域包括支援センターが連携、機能の周知、相談体制の充実により要支援認定者数を抑制する。
 - 出現率を 19.5%に留める：地域健康ケア計画の目標値 【0 予算：(事務事業No.329)】
- (3) 短期集中（12 週）通所型サービス C 事業の拡大 【6,000 千円：(事務事業No.326)】
 - 元年度試験的にゆうゆうで 2 期間実施。2 期間合計で 12 人中 9 人に効果が見られた。
2 年度は、市内の 4 包括エリアで 2 期間の実施を見込む。 → 次期介護保険事業計画では更に拡大を目指す。
 - 市内地域密着型通所介護（27 事業所）のうちリハビリスタッフが十分とは言えない施設を対象に PT を派遣し、リハビリの質の向上を図り、重度化防止に繋げる 【210 千円：(事務事業No.333)】
- (4) モデル地区を選定し、生活支援コーディネーターを配置して通いの場の再構築を図る。 ⇒ 他地区への展開に繋げる。【1,400 千円：(事務事業No.330)】
 - ・ 地域資源の洗い出し（見える化） ・ 通いの場等の再構築と立ち上げ（地区で行う通所型サービス B などの全地区への展開）
 - ・ 参加を促す手法の検討 ※参加等に必要となる「足」確保への研究

【令和3年度以降】



[方向性]

- (1) 各地区での、予防事業の再構築を進め、元気な高齢者の増加と要介護認定者の減少を確実なものにする。
- (2) 現在の介護給付費を減少させるのは困難。元気な高齢者を増やして、要介護認定者の低減に繋げ、将来的な介護給付費の抑制、低減に繋げていく。

[第8期介護予防事業計画での留意点]

- (1) 令和2年度からの取組で、出現率の抑制が進むことを想定している。→**2年度の状況を見極め出現率の将来推計への反映**

↓
要支援認定者を事業対象者に留めることで、認定を受けることにより一方的にサービス量が増えることへの一定の抑制効果が働くと予想。
一方で、この時点では介護給付費の大きな抑制は望めない。

↓
まずは、要介護認定者の低減を確実なものとしていく。

- (2) 介護予防事業の充実

短期集中通所型サービスC事業の展開

※令和2年度の実施状況から、飯田市内での規模感をつかみ、**具体的な抑止、改善目標としての位置づけを検討。**

地区での介護予防事業の再構築を進める

※令和2年度のモデル事業の展開を図る。

高齢者実態調査の考察も含め、対象とする年代や、事業内容、機能の整理を進める。

地区住民の取組に専門職等の関りを深めることで機能の充実を図る。

↓ これらを進めることで

介護予防の費用対効果の数字化(見える化)を研究する → 将来の事業計画の中で介護給付費の抑制、低減の根拠として位置づけていく。